

<様式1>

令和3年度 さいたま市立 春里中 学校 自己評価書

校長 八戸 宏



1 学校で設定した「令和3年度の目標」及び関係する「評価項目」について

(1) 目指す学校像の実現を目指し教育活動の充実を図る。学校評価（生徒・保護者）の結果から検証を図る。

・学習意欲溢れる学校 ・挨拶のあふれる学校 ・思いやりあふれる学校

(2) いじめ・不登校など、1人ひとりの生徒に対して、積極的かつ組織的な対応のため、「生徒指導体制」「教育相談体制」の充実を図る。

(3) 教職員のワーク・ライフ・バランスの充実のため、「時間外在校時間の縮減」「年休の計画的な取得」など、業務改善を図った。

2 評価結果について

(1) 目指す学校像の実現に対して、学校評価アンケート結果の肯定的回答率をまとめた。

①学習意欲溢れる学校

質問項目	生徒	保護者
進んで学習に取り組んでいますか。	70.8%	66.8%
授業を分かりやすいと感じていますか。	91.7%	70.1%
G・Sの授業で積極的にコミュニケーションをとることができていますか。	75.6%	60.7%
放課後の時間、計画的に家庭学習に取り組んでいますか。	55.8%	58.3%

○市から導入されたICT機器を活用した授業の推進がなされた。

○市教育委員会から研究委嘱された主権者教育を研究主題として、外部講師を招聘しての講演会などに取り組むことができた。

●将来を意識させ、日々の学習の計画に取り組ませる必要がある。

②挨拶のあふれる学校

質問項目	生徒	保護者
学校生活を楽しいと感じていますか。	92.5%	90.3%
しっかりとしたあいさつをしていますか。	92.7%	89.3%

○生徒会及び委員会活動で、朝の挨拶運動を実施した。また、小・中一貫教育の取組の中で、朝の挨拶運動を実施した。

○多くの生徒が学校生活に充実感を覚え、楽しいと感じている。

③思いやりあふれる学校

質問項目	生徒	保護者
友人などに対して、思いやりの心を持って接していますか。	96.7%	97.1%
相手の気持ちを考えようとした会話をしていますか。	96.5%	90.8%

○お互いに思いやり、日々の生活を送ることができている。

●個々が抱える課題について、学校として組織的に対応を続ける必要がある。

(2) 生徒指導・教育相談体制の充実においては、校内組織だけでなく、教育相談室、児童相談所、警察等とも連携しながら、積極的かつきめ細かな指導に取り組むことができた。

(3) 教職員のワーク・ライフ・バランスについては、具体的に「各職員の時間外在校時間を記した用紙の配付」「安心メールによる欠席連絡」「各職員のノー残業デーの設定」に取り組んだ。ただし、時間外在校時間の大幅な縮減にまでは至らなかった。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

学習面において、計画的な家庭学習に取り組ませることが課題である。将来を意識させ、現在の学びが将来の自己実現につながることも理解させ、学習内容を定着させる時間をしっかりと設定させる必要がある。また、生徒間の人間関係は概ね良好であるが、個別にはそれぞれ課題を抱えている場合があるので、学校として組織的に把握し、積極的に対応に取り組む。